

北海道浮魚ニュース

平成 25 (2013) 年度 20 号

2013 年 11 月 6 日

道総研 函館水産試験場

ホームページ : <http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

11 月道南太平洋スルメイカ調査結果

道南太平洋での 11 月調査のスルメイカ分布密度は過去 4 年に比べ高かった。海域全体の魚体サイズは昨年より大きく過去 4 年平均並み。

函館水試調査船金星丸で実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・ 調査期間 : 2013 年 10 月 28 日 ~ 11 月 1 日
- ・ 調査海域 : 道南太平洋、津軽海峡

昨年 (2012 年 11 月 5 日 ~ 9 日) のデータと比較しました。

1 . 水温 (図 1、 2)

漁獲調査点 4 地点の表層の水温は、函館沖 St.16 で昨年の値を 0.8 下回り、他の 3 調査点では昨年の値を 0.1 ~ 1.3 上回りました。水深 50m 層の水温は、昨年の値を木直沖 St.1 で 3.0、浦河沖 St.15 で 1.6 上回り、下北半島東沖 St.8 で 0.4、函館沖 St.16 で 4.1 下回りました。調査海域全体の水深 50m 層の水温分布は、日高地域の沿岸部に昨年より 2、津軽海峡内に昨年より 4 ほど水温の低い海域が見られ、その他の海域では全体的に昨年並みから 1 ほど高い水温となっていました。

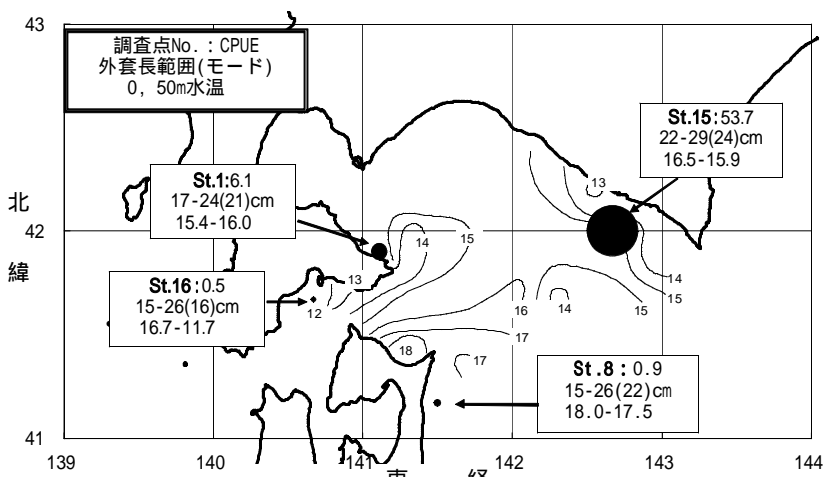


図 1 2013 年の漁獲調査結果と水温 (10 月 28 日 ~ 11 月 1 日)
は漁獲調査点を示し面積は CPUE に比例。等温線は 50m 水深の水温分布。

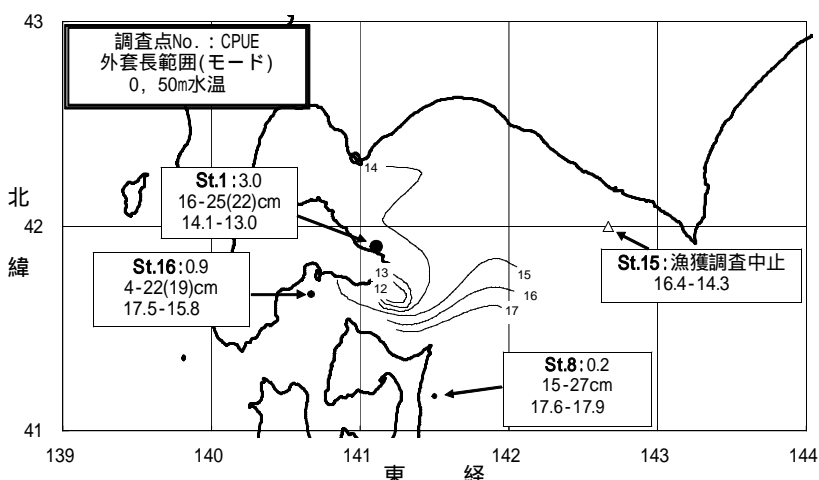


図 2 2012 年の漁獲調査結果と水温 (11 月 5 日 ~ 9 日)
は漁獲調査点を示し面積は CPUE に比例。は漁獲調査中止。等温線は 50m 水深の水温分布。水温データには 2012 年 10 月 30 日 ~ 11 月 2 日に行った定期海洋観測調査 (金星丸) のデータを一部使用。

表 1 2009 年以降の各調査地点の CPUE と海域全体の魚体サイズ。

	2009(H21) 11/9-11/11	2010(H22) 11/11-11/12	2011(H23) 11/7-11/11	2012(H24) 11/5-11/9	2013(H25) 10/28-11/1
St.1(木直沖)CPUE	1.2	15.0	1.4	3.0	6.1
St.8(下北半島東沖)CPUE	-	-	1.1	0.2	0.9
St.15(浦河沖)CPUE	8.1	-	0.04	-	53.7
St.16(函館沖)CPUE	-	-	2.4	0.9	0.5
平均CPUE (尾/台・時間)	4.6	15.0	1.2	1.4	15.3
外套長の範囲(cm)	16-30	17-30	12-29	4-25	15-29
各地点の外套長モード(cm)	24	24,26	24-26	19,22	16-24

2. 分布密度 (図 1、2、表 1)

漁獲調査点 4 地点の平均 CPUE は 15.3 で昨年全調査点の平均 (1.4) を上回り、調査が現在の形となった 2009 年以降で最も高い値となりました。最も CPUE が高かったのは浦河沖 St.15 (53.7) で、道東方面から来遊する南下群が日高海域まで到達していると考えられます。

3. スルメイカの大きさ (図 1 ~ 3、表 1)

漁獲されたスルメイカの外套長は 15 ~ 29cm (昨年 4 ~ 25cm) の範囲にありました。各地点の外套長のモード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) は 16 ~ 24cm にあり、全体として東側の点ほどサイズが大きくなる傾向が見られました。調査海域全体の外套長のモードは 24cm (昨年 22cm) で、外套長組成は昨年より大きく過去 4 年平均並みでした。

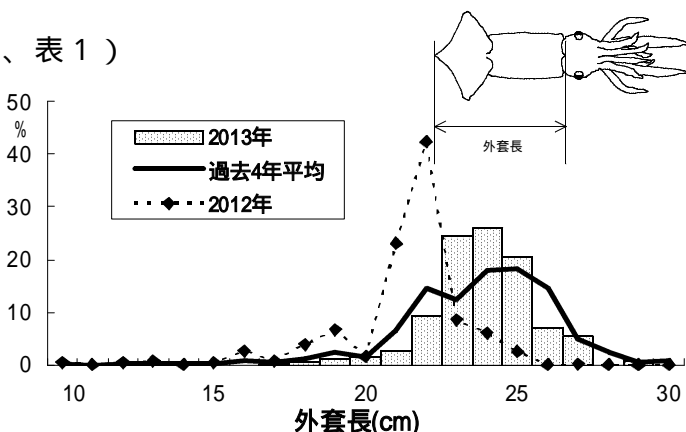


図 3 調査海域全体のスルメイカ外套長組成

4. スルメイカ標識放流 (図 4)

調査期間中の 10 月 29 日、浦河沖 St.15 で 252 尾のスルメイカ標識放流を行いました。標識は裏面に「JPN」、表面に「P20 ~ P22」の番号が記載された黄色アンカータグです。標識のついたスルメイカを再捕された方は最寄りの水産試験場まで報告いただきますよう、よろしくお願いいたします。

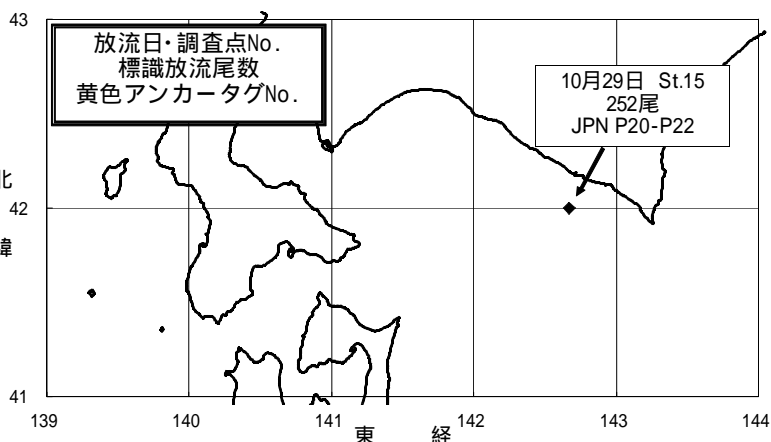


図 4 標識放流の位置・放流日・尾数及び標識番号

5 . アカイカ (図 5)

漁獲調査を行った4地点のうち、10月29日の浦河沖 St.15 (57尾、CPUE : 5.3) 及び10月30日の下北半島東沖 St.8 (6尾、CPUE : 0.3) の2点でアカイカの漁獲がありました。漁獲されたアカイカの外套長は21 ~ 34cmの範囲にあり、海域全体の外套長組成は27cmにモードがありました。

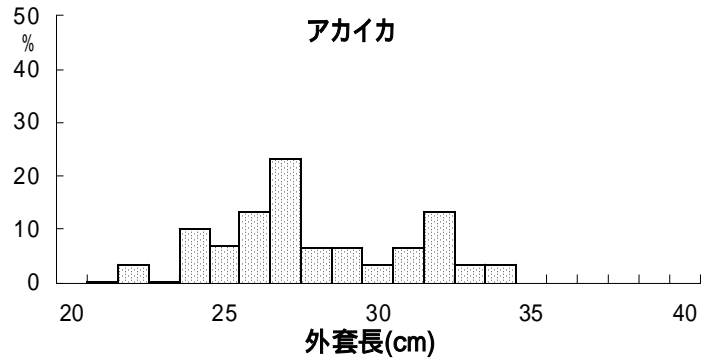


図5 調査海域全体のアカイカ外套長組成

(函館水産試験場調査研究部、TEL : 0138-57-6056 直通、FAX : 0138-57-5991)